

スイスの「テレコムワールド2003」で小野寺社長が講演

10月12～18日、スイス・ジュネーブで、ITU(国際電気通信連合)が主催する通信分野では世界最大規模の展示会「テレコムワールド2003」が開催され、世界の通信企業や通信関連メーカーなど約900社が出展し、約11万人が来場しました。

会期中の15日には、「3Gと無線LANは競合するか、それとも共存するか」というテーマによるビジネスセッションで設けられ、KDDIの小野寺正社長が「ユビキタス社会を目指して」と題した基調講演を行いました。その中で、KDDIは日本のe-Japan政策を受けてユビキタス環境の実現に取り組んでいること、CDMA2000 1xをはじめとする3Gが日本で広く普及していること、今後の展望として移動体を活用したソリューションが求められていること等を述べた後、3Gと無線LANとの共存を“Overlay Approach”という言葉でキーワードに展開していくことを表明しました。